

## 15) 日本の介護制度・介護サービスの国際評価

日本の介護制度・介護サービスは、世界の最高水準と高く評価されている。その詳細は以下の通り。

### 1) 公的介護保険の充実

#### \* 2000年介護保険制度導入

\* 40歳以上の日本在住者は全て介護保険に強制加入し、月々保険料を支払う

\* 65歳以上で介護が必要になった場合は、要支援・要介護認定を受け、その程度によって費用の9割を保険負担、1割を自己負担（高所得者は所得に応じて2割・3割自己負担）

### 2) 介護人材の充実

\* 介護スタッフの国家資格化（介護福祉士）、資格保有者が多い

\* 介護人材育成プログラムの充実

\* 介護スタッフの高いサービス品質

## 15) 日本の介護制度・介護サービスの国際評価

### 3) 介護サービスの多様化

- \* 在宅介護・通所介護・施設介護等、要介護者のニーズに合わせて異なった介護サービスを受けられる
- \* 最新の技術を導入した介護用具も豊富

### 4) 課題

- \* 介護費の高騰
- \* 介護スタッフ不足
- \* 介護スタッフの待遇改善

## 15) 日本の介護制度・介護サービスの国際評価

### 5) 日本の介護制度・介護サービスの国際評価が高いポイント

(2020年OECD「高齢者の健康と福祉に関する報告」)

- \* 利用者の自立を支援するサービス
- \* 家族や地域の支えを重視
- \* 高い介護サービスの品質

(2021年世界銀行「高齢者ケアに関する世界報告」)

- \* 介護保険制度の下で、全ての国民が介護サービスを利用出来る
- \* 多様な介護サービスの提供
- \* 介護従事者の質が高い